

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
八幡地区

平成29年12月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	緑被率	%	16	18	17	確定 ●	△	あり			—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公共用地では、東田大通り公園、スペースワールド駅前広場の植栽整備、枝光尾倉1号線、枝光本町前田1号線の中央分離帯への高木植栽などにより緑地面積が増加した。民有地では、未利用地の住宅地、商業地への転用が進む中、住宅地では緑化を進み、緑率が増加した。一方、商業地では敷地面積の増加に対し、十分な緑化が進まなかったため、地区全体の緑被率目標値を達成することができなかった。	
指標2	観光・文化施設の来館者数	人/年	515,623	530,000	633,711	確定 ●	○	あり	673,087.0	H29.11	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	いのちのたび博物館の再整備により、来館者数が大幅に増加した。リニューアル直後のH25年度は、全国規模で各種メディアの関心を集め、来館者数の急増を後押しした。
指標3	市民参加の取組み数	人	0	2,500	2,720	確定 ●	○	あり	3,246	H29.11	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	環境ミュージアムを拠点に、環境学習をテーマとしたワークショップを開催し、多くの市民の参加を得た。環境意識の向上を図り、市民との協働によるまちづくりにつながっている。
指標4						確定 ●	○	あり			○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 ●					—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 ●					—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	観光・文化施設の観光振興	・血倉山健康ウォークを開催 ・「血倉八景選抜総選挙」を開催	・血倉山周辺のにぎわいづくりを目的として、「血倉山健康ウォーク」を開催し、約2600人が参加した。 ・新たなイベントとして「血倉八景選抜総選挙」を企画し、血倉山の見所を掲載した投票用紙付きの登山マップを作成した。実際に歩いて、血倉山の魅力を見つけてもらうことで、知名度の向上やにぎわいづくりにつながっている。	今後も血倉山の自然とふれあう施設の充実や魅力あるイベント開催など、観光・文化施設が連携して情報発信・魅力づくりを行い、回遊性を高め、さらなる観光振興につなげていく。
	市民との協働によるまちづくりの推進	・環境学習をテーマとしたワークショップ等の開催	・環境ミュージアムを拠点に、環境学習をテーマとしたワークショップを開催し、多くの市民の参加を得た。 環境意識の向上を図り、市民との協働によるまちづくりにつながっている。	今後も環境学習及び交流の場を提供することで、市民の環境意識の向上を図り、環境首都を担う先進モデル地区として、市民との協働による環境共生型のまちづくりを推進する。
	東田地区の緑被率の向上			
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項